

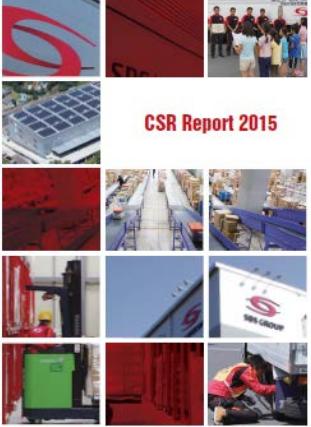
2015年9月4日

各 位

SBSホールディングス株式会社

## SBSグループ、CSR報告書2015を発行 —新たな内容も加え、1年間の取り組みを分かり易くご紹介—

SBSグループは、本日「SBSグループCSR報告書2015」を発行しましたのでお知らせいたします。2009年に環境報告書を、翌年から範囲を拡大してCSR報告書とし、今年で7回目の発行となります。当社ウェブサイト(<http://www.sbs-group.co.jp/hdg/csr/report/>)に掲載し、ダウンロードも可能です。当グループのCSR活動の全容を是非、ご覧ください。

 CSR Report 2015	<p><b>CSR報告書2015の仕様</b></p> <p>対象期間：2014年4月1日～2015年3月31日 (一部対象期間外の活動も含む)</p> <p>対象組織：SBSホールディングス及びグループ各社 体 裁：A4版、24ページ</p> <p>発行対象者：全てのステークホルダーの皆様</p> <p>主な内容：トップメッセージ 特集ページ 4つの課題（安全・環境・社会・コーポレートガバナンス）への取り組み報告 CSR DATA2014、第三者意見 など</p>
---	---

### ＜当報告書の見どころ・ポイント＞

- ・特集ページは、館内物流の社会貢献性に注目！  
当たり前の社会インフラである物流事業にあって、そのサービス性と社会性から、社会的課題解決とビジネスの両立が期待されている館内物流に注目しました。
- ・最重要課題「安全」への取り組み報告は、インタビューも含め充実！  
「安全」への取り組みの活動報告に加え、SBSホールディングス物流品質管理部長が一年間の取り組みを総括しています。
- ・CSR関連データを、見やすく分かり易くご報告！  
4つの課題(安全・環境・社会・コーポレートガバナンス)に関連するデータを「CSR DATA 2014」のページに分かり易くまとめました。

このCSR報告書は、SBSグループの事業活動が社会や環境に及ぼす「影響」に対する、倫理的責任に基づいた取り組みを、ステークホルダーの皆様にご報告するものであり、同時に社会的価値を判断いただくものです。これからも真摯に取り組みを継続してまいります。今後もSBSグループのCSR経営にご注目ください。

以 上

## ■ご参考

### < S B S グループ概要 >

持株会社：S B S ホールディングス株式会社（S B S グループ純粹持株会社）

設立：1987年12月

代表者：代表取締役社長 鎌田 正彦

上場：東京証券取引所市場第一部

本社住所：東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスター

資本金：39億円（2014年12月末現在）

売上高：1,415億円（2014年12月末現在、連結）

従業員数：14,084名（うち正社員5,572名、2014年12月末現在、連結）

事業内容：S B S グループは、1987年の創業以来、物流ならびに物流に付帯するサービスを充実させ、ワンストップの物流サービスをご提供することで、お客様の利益創造に貢献してまいりました。グループ内には、食品から超重量物までさまざまな商品を扱う企業群、路線、区域、即日配送まで多様な配送形態にお応えできる企業群、そして、物流施設開発、環境物流などの専門的な企業群を有しています。

グループ：連結子会社27社（2014年12月末現在）

S B S ロジコム(株)	総合物流、3PL
S B S フレイトサービス(株)	一般物流、路線事業
日本レコードセンター(株)	一般物流、3PL
S B S トランスポート(株)	一般物流、3PL
主 S B S グローバルネットワーク(株)	国際物流
要 S B S フレック(株)	食品物流、3PL
企 S B S フレックネット(株) ※2015年1月1日設立	食品物流
業 S B S ゼンツウ(株)	食品物流、個人宅配
主 S B S 即配サポート(株) ※2015年7月1日設立	即日配送、廃棄物処理
な S B S Logistics Holdings Singapore Pte. Ltd.	地域統括、ドレージ事業
事 S B S Transpole Logistics Pvt. Ltd.(India)	国際物流
業 Atlas Logistics Private Ltd.(India)	国際物流
(株)エーマックス	物流施設の開発、賃貸
S B S スタッフ(株)	人材派遣、職業紹介
S B S ファイナンス(株)	リース、保険、共同購買
マーケティングパートナー(株)	マーケティング、通販事業

U R L：日本語 <http://www.sbs-group.co.jp> 英語 <http://www.sbs-group-ir.com/>

## ■本件に関するお問い合わせ先

S B S ホールディングス株式会社

I R ・広報部 南 輝子

TEL:03-3829-2240 / e-mail:contact11@sbs-group.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、  
あらかじめご了承ください。

以上